

過去最高の増収増益

ポラスG 各事業で規模を拡大



ポラスグループの17年3月期連結決算は、複数の大型物件の

発売によりマンション分譲事業が大幅に供給戸数を伸ばしたほか、プレカット事業でも引き続き好調を見せ、過去最高の売上高と経常利益、当期純利益となった。

売上高は1932億2900万円(前期比10・9%増)、営業利益は132億8700万円(同33・8%増)、経常利益は138億2200万円(同29・4%増)、当期純利益は36億7600万円(同23・7%増)。

注文住宅伸ばす

主力の戸建て分譲は、歴史

的な景観を生かした街づくり
に注力した「このは越ヶ谷」
など、地域性に合わせた開発
で高評価を受けたものの、事
業スパンの長さなどが影響
し、契約棟数では2219棟
(同5・4%減)と減少。一
方、注文住宅では独自の耐震
技術による差別化などが功を
奏し、契約棟数を807棟
(同5・1%増)に伸ばした。
合計では3026棟(同2・
8%減)とやや落ち込んだも
の、2年連続で3000棟
超を保っている。

マンションが大幅成長

マンション分譲事業では、
同グループとして過去最大と
なる200戸規模の物件をは
じめ、複数の大型物件を順調

に販売。契約戸数を254戸
(同137・4%増)と大幅
に拡大した。

プレカット事業でも順調に
業績を伸ばし、構造物生産坪
数は124万坪となり過去最
高を更新。また工場の加工ラ
インで設備を増強したほか、
物流分野でも配送センターを
建設して効率化を図るなどの
投資を行い、売上高は660
億7400万円(同14・4%
増)となった。

次期予想は売上高1950
億円(同0・9%増)、経常
利益150億円(同8・5%
増)、当期純利益38億円(同
3・4%増)。中内晃次郎社
長(写真)は今後の計画につ
いて、「独自技術による高付
加価値の家づくりでエリア・
シェアの拡大を図るほか、プ
レカット事業の全国展開を積
極的に進めるなどして、次期
目標につなげていきたい」と
話している。